



齋藤 昭子
さいとう・あきこ
1947年青森県弘前市生まれ。70年弘前大学教育学部卒業と同時に旧宮城県民生協へ。82年合併でみやぎ生協理事、2003年副理事長。09年から理事長に就任、メンバー62万人、県内世帯の68%という加入率日本一の生協を率いる。30年近く前から環境・福祉問題に取り組み、生協活動の理念を実践している。宮城県内第1号店舗の多賀城店でレジチェッカーからスタート、灯油や牛乳配達など、メンバー加入活動も「とにかく一生懸命やりました」。宮城県生活協同組合連合会会長理事、日本ユニセフ協会宮城県支部副会長、みやぎ・環境とくらし・ネットワーク副理事長、NPO法人介護サービス非営利団体ネットワークみやぎ副理事長なども兼任する。

清月記 SPECIAL対談 第1回 齋藤昭子さんが語る「女性の生き方」

宮城県世帯数の62%の加入率を誇るみやぎ生協理事長の齋藤昭子さん。競争が激しい団塊の中で、様々な対外活動に活躍されています。これからの時代をどう生きていくべきか、伺いました。



「ポジションで人は評価されません」



菅原 裕典
すがわら・ひろのり
1960年宮城県塩釜市生まれ。83年東北学院大学経済学部経済学科卒業。83年名古屋・中京葬儀社入社。85年3月、父・清一とともにすがわら葬儀社設立。89年仙台メモリアルサービス設立、社長就任。2000年エポックせんだい設立、社長就任。01年社会福祉法人無量壽会理事長就任。01年せんだい泉工フーム放送取締役。01年(株)すがわら葬儀社社長就任。10年宮城学院中学校・高等学校父母教師会会長就任

教員試験に失敗。多賀城店でレジ打ちからスタート

菅原 齋藤さんは、青森県弘前市から仙台に來られてから、生協活動に入られたんですか。

齋藤 実は、大学1年生から4年間、アルバイト代わりに大学生協の運営などに携わる学生委員をやったんです。売店を手伝ったり、勉強もしましたが、生協に行っているほうが多かったかな。

卒業後は教員になりたかったのですが、教員採用試験に失敗してしまいました。弘前で先生になる口はないなと思っていたとき、宮城県民生協から1号店の多賀城店が4月5日にオープンするけど、レジ係が足りないと言ってきたんです。

3月31日に仙台に來たのですが、誰も知り合いがいま

ん。大学生協の寮に入って、1日から4日間トレーニングをして、オープンの5日にレジに立つたんです。

菅原 なぜ、1号店が多賀城だったんですか。

齋藤 仙台周辺で200坪のスーパーマーケットが展開できる立地として、適地でした。

菅原 その店のレジ打ちから物語が始まったのですね。

齋藤 そうですね。牛乳から灯油の配達、加入活動など、何でもやりました。当時、生協に女性が入っていたときに、利用者の名前を書いて下さいという、ほとんどの方が夫の名前を書く方が多かったことを覚えています。まだまだ女性のご自分の名前を全面に出すという時代ではなかったですね。

菅原 青森県内での先生希望から多賀城に生活に移され

ます。悩まなかったですか。

商品を開発して、受け入れられるほど楽しいものはない

菅原 とても楽しかったと言われましたが。

齋藤 苦労がないとは言いません。でも、みんなと一緒に商品を開発したり、家計の勉強をしたり夢中でした。それまで消費者の方は、メーカーの商品を買っていた中で、生協商品を買って下さいというわけですから、中味を勉強しないと売れないんです。一生懸命にやりましたね。そこに生協の価値があるんです。商品を作って、それが受け入れられる、これほど楽しいものはないと思っています。

菅原 みやぎ生協がぐんぐ

ら葬儀業の手伝いをしていました。父は11人兄弟の6番目でJRに勤めたのですが、退職した後、私はこの仕事が好きで、24歳の時に一緒に始めたのです。

菅原 そうでしたか。齋藤 齋藤さんは、みやぎ生協の理事長として大きな組織を牽引されていますが、改めて苦労だったなあと、思ったときはいつでしたか。

菅原 やはり、宮城県民生協と宮城県学校生協が合併した前後です。同じ生協といつても、組織文化も違いますから、エネルギーを使いました。対等合併を実現し、みやぎ生協を誕生させたのは、両トップの強いリーダーシップでした。

菅原 役職の問題とかなり

ますね。

齋藤 私はいつも言っているのですが、ポジションが重要なのではない、あなたが何をしたいかが重要なのだと思います。どうして役職には限りがあります。

菅原 その立場、立場で、どう努力するかな。ところで、私どもの商売について日頃、どのように感じておら



宮城県民生協と宮城県学校生協の合併に向けての準備後の役職員メンバー。右から5番目が齋藤さん

れますか。

齋藤 とても大切な職業だと感じています。メンバーの方から、これからは一人、二人暮らしの方が多くなるので、生協で共同墓地を作れないのかと言われます。そしてご自分の最後のときを、こうしたいというご意見の方も増えています。少子高齢化が急激に進む中で、地域で支え合う仕組みづくりと人材育成がますます必要になっていると感じています。

菅原 私どもも、儀礼文化の継承者として、今後とも頑張つてまいります。長時間にわたり、大変ありがとうございます。



清月記本社で

石巻大街道齋場 **清月記**
石巻市大街道北 3-3-8

家族葬から大規模葬儀まで最大 300 名様収容可能。
1日1家族様限定の式場です。

<http://www.seigetsuki.co.jp/>

0800-888-5777 24時間・365日受付
(携帯・PHS OK)

